

1-5. 海岸に関する地域の声

千葉東沿岸の海岸の現況や今後の海岸保全施設整備の方向等について、リーフレットの配布・ホームページの公開（平成14年8月～10月実施）で寄せられた意見、「千葉なの花県民会議」（平成13年5月～平成14年7月実施分）で寄せられた意見、平成8年度に地元住民を対象に実施した「九十九里浜の保全と利用に関するアンケート」および千葉東沿岸海岸保全基本計画公聴会（平成15年2月15日、16日実施）で寄せられた意見について、それぞれ防護、環境、利用の3側面と内容から整理し、以下に示す。

1-5-1. リーフレットの配布・ホームページの公開で寄せられた意見

(1)防護面

- ・九十九里海岸の特徴は砂浜と松林。この2つがあって海浜植物、湿地植物が生育している。ともかく、砂浜の保全対策としての海岸の防護が何にも増して優先する。(市原市 男性/59歳)
- ・沖合いの岩礁が波消しの効果を果たしているので沿岸への被害は急には発生しません。海の中へ手をつけることだけは避けてください。(鴨川市 男性)
- ・海面上昇やより高い波高に耐える海岸線の維持や防護は、間違いなく多額の費用を必要とする公共事業となりますが、少しずつでも取り掛かるべき事業ではないでしょうか。(大原町 男性/39歳)

(2)環境面

- ・砂浜から海岸林にかけては、生物多様性そのもの。特に海岸林の野鳥の多さ、場所によるが湿性植物の多さは抜群。何を守るために何が駄目方式ではなく、トータルとしての保全。(市原市 男性/59歳)
- ・漁港が伸びることによって、磯に砂が入り、自然環境が破壊されています。漁師さんは、漁港の整備は自分の首を絞めていることに気がつくべきですし、それを理解させるように国や県は行うべきです。海は触らない。これが基本だと思っています。(千葉市 男性/35歳)
- ・緩傾斜護岸の下に埋められてしまった砂などにも当然いろいろな生物がいたはずで、これらの住処を奪ったという罪もあります。緩傾斜護岸はすぐにでも取り払ってください。(同上)

(3)利用面

- ・行政、地元、利用者、業界（水上バイク、ウィンドサーフィン等）の連係による指導活動や海岸の利用についての明確なルールづくり、利用者への広報活動、また、春から秋までのレジャーシーズン特にマナーの悪さが目立つことから、上記の活動は重点時期を決めて実施することなどが、打開策として考えられる。(千葉市 男性/39歳)
- ・海を利用するレジャーが一層盛んになるにつれて、その人たちの利害のぶつかり合いを調整する必要があると思います。共存のために、湾内、沿岸の海上交通や規制標識やマップを策定すべきではないでしょうか。(大原町 男性/39歳)
- ・水上バイクなどのオイルや燃料もできる限り環境に優しいものに規制するべきです。(大原町 男性/39歳)
- ・あらゆる利用者の意見をバランス良く取り入れていただき、多くの人々が楽しく浜辺を利用することができるような仕組みづくりをしていただきたいと思います。(千葉市 男性/39歳)

1-5-2. 千葉なの花県民会議

(1) 防護面

- ・「護岸工事」蓮沼村の観光資源の原点である海と砂浜の自然環境を後世代に残すため、早急な護岸工事と海岸整備をお願いしたい。(蓮沼村)
- ・「侵食」九十九里浜の侵食が進みつつある。砂が流出しないような方法と、海岸を元に戻す方策を検討してもらいたい。

(2) 環境面

環境保全・動植物保護

- ・「雄大な海岸線」産業と観光の発展に合わせて、九十九里浜の雄大な海岸線の自然を残しておく場所も考慮してほしい。(九十九里町)
- ・「美しい海岸線」南房総は、海岸がPRポイントであり、美しい海岸線の保全は、観光が主である南房総の問題としてではなく、千葉県全体の問題として考えてもらいたい。(天津小湊町)
- ・「海岸環境の美化」三方を海に囲まれている千葉県にとって、海岸環境の美化はイメージを良くする最善の方法である。(白浜町)

ゴミ

- ・「海岸清掃」海岸沿いの身近な機関の職員が少し時間を割いて海岸美化に目を向けてもらい、地域の人たちも一緒にボランティア活動で海岸を掃除していくことが、この観光地からスタートできればと思う。(天津小湊町)
- ・「海岸漂着物」海岸に漂着するペットボトルや空き缶が多い。国でできないのなら県独自にデポジットを制度化する条例は作れないか。(天津小湊町)
- ・「海岸漂着物」海岸に漂着する流木について県と地域ボランティアの人たちが一緒に処理することはできないか。(天津小湊町)
- ・台風などがあると、川から流れてきたもので、海岸の清掃が大変である。(岬町)

(3) 利用面

施設

- ・「海水浴場・駐車場」和田浦の海水浴場は、日本の海水浴場55選などに選ばれるほどであるが、駐車場が狭いので困っている。保安林を駐車場として解放してもらいたい。(和田町)
- ・「港の利用・活用策」千倉漁港は、近年、減船や廃業を余儀なくされ、寂しい港となってしまった。港の利用・活用策について県として良い考えがあったら教えてほしい。(千倉町)
- ・「港の利用」漁民の減った漁港の整備や、環境改善しないままの魚礁の投入は公共事業の無駄である。漁港は、みんなが使える多目的な場所利用が行えるよう配慮してほしい。/漁港では、釣り人とのトラブルも起きていることから、現状での多目的利用には賛成できない。魚礁の投入についても検討しながら行っている。(天津小湊町)

漁業

- ・房総ブランドであるアワビ、サザエ、イセエビの漁獲量が減っているが、管理の仕方で改善されるのではないか。(千倉町)

1-5-3. 九十九里浜の保全と利用に関するアンケート（平成8年度実施：住民アンケート）

(1) 防護面

現状の被害については、自然環境の要素としても保全が望まれている砂浜の減少に言及する意見が多かった。

保全施設に対する意見は賛否両論あり、必要性和効果を認めるものと、効果を疑問視、弊害について触れるものが見られた。また、施設整備そのものを否定はしないが自然との共生を求める声も多かった。

(2) 環境面

自然環境に関する意見を大別すると、かつての豊かな自然を回想するもの、自然のあり方や自然への接し方、そして自然保護の方策についてふれた3つに大別することができる。

かつての豊かな自然を回想するものとしては、「昔は砂浜が多かった」、「ハマボウフウやハマヒルガオなどの植物が減少した」等の意見が多かった。

自然のあり方や自然への接し方では、「自然のままが最高の環境であり、動植物環境を真剣に考える時である」、「砂浜海岸をいつまでも保持してほしい」など、自然環境の重要性とともに共生する方向を訴える意見が多かった。

そして、自然保護の方策に関する記述では、「残土、海砂などを敷くことにより海岸植物は自生する」、「松林の保護・育成をし、動植物の繁殖地にする」などの意見が寄せられた。

(3) 利用面

自由記入欄回答者の約70%は、利用に関する意見を記述していた。そのうち『車両乗り入れ』に関する意見は14%、『不法占有(海の家)』に関する意見は17%、『ゴミ問題』に関する意見は39%となった。

『車両乗り入れ』については、「禁止すべき」または「規制するまたは、規制して罰則を設ける」との意見がほとんどであり、ウミガメの産卵や海浜植生等の自然環境への影響を危惧する意見や利用上危険であるとの意見がみられた。

また、『海の家不法占有』については、「撤去すべき」、「不法占有に不満を感じる」などの意見が得られ、いずれも否定的な意見であった。

『ゴミ問題』の現状については、「海岸が汚く寂しい」、「防災林に不法投棄が目立つ」など遺憾の意を表明するものが多い。また、対策、希望に関する意見としては、「マナーの定着を願う」、「ごみ箱、ゴミ処理施設をつくってほしい」などの意見が得られた。

以上の意見の大勢を示すと、およそ以下の通り集約される。

1. 砂浜や松林等の植物に代表される豊かな自然を守るべきであり、可能ならば失われた自然を回復したい。
2. 保全施設は必要だが、地元の意見を良く聞いて、自然に馴染む形で設置して欲しい。
3. 車両乗り入れや海を家の不法占有は許されるべきでない。
4. マナーの啓蒙やゴミ処理施設、清掃活動等によって海岸の美化を図るべきである。

1-5-4. 千葉東沿岸海岸保全基本計画公聴会

平成 15 年 2 月 15 日（土）10:30～12:00：鴨川市役所大会議室（参加者 123 名）

平成 15 年 2 月 15 日（土）14:30～16:00：大原文化センター1 階大会議室（参加者 51 名）

平成 15 年 2 月 16 日（日）10:30～12:00：成東町文化会館のぎくプラザ 2 階会議室（参加者 41 名）

平成 15 年 2 月 16 日（日）14:30～16:00：旭市総合体育館・サブアリーナ（参加者 80 名）

(1) 防護面

- ・外川漁港で、定期的に、浚渫している砂を九十九里海岸の侵食されているようなところへサンドパイパスする計画はないのでしょうか。（旭会場：銚子市住民）
- ・ヘッドランド建設後の漂砂下手側の侵食が非常に激しく、浜崖化する。（大原会場：一宮町住民）
- ・大変お金がかかるでしょうけど、やはりある程度、野栄以南のほうにもヘッドランドは必要ではないか。（成東会場：光町住民）
- ・大原町の日在では、ウミガメの上陸やラグーンもあって、すごく自然環境に恵まれているが、将来海面が上がってくると、このラグーンもなくなってしまうだろう。温暖化による海面上昇を計画を立てる中に組み込んでいただきたい。（大原会場：大原町住民）
- ・天津小湊海岸浜荻一号地区への消波ブロック投入は反対です。（鴨川会場：サーファー）等多数
- ・前原海岸等の住宅密集地域には高潮対策をお願いしたい。（鴨川会場：鴨川市住民）
- ・海岸の保全基本計画を立てるに当たって、これから将来を見たとき、海面の上昇、気候の温暖化が非常に重要になる要素だと思います。（大原会場：大原町住民）等多数

(2) 環境面

- ・ウミガメ孵化の監視活動中に車両乗り入れを目撃した。（成東会場：成東町住民）
- ・松林の利用方法も検討していただきたい。（成東会場：成東町住民）
- ・個々の植物とか動物だけを保護するということではなくて、海岸の自然全体を保全していく方向でやっていただきたい。トータルで考えていただければ、多分、植物も動物も住みやすく、人間と共存しているようになっていけるだろうと考えています。（成東会場：成東町住民）
- ・動植物の保全の立場での調査も必要ではないでしょうか。（成東会場：光町住民）

(3) 利用面

- ・このような総合的な計画をなされるのであれば、その中で、これからの自然志向の風潮の中で、人間が身の丈をもって親しめるような、点だけではなくて、人間が線で移動できるような面的な面からの活用も、ぜひお願いしたい。（成東会場：大網白里町住民）
- ・人工リーフを設置するとサーフィンする場合に非常に危険となっている。（旭会場：サーファー）
- ・片貝漁港周辺の利用を促進してもらいたい。（成東会場：九十九里町住民）

- ・レクリエーションという立場から、特に釣り人の視点から防波堤の設計、これも考えていただきたい。（大原会場：大原町住民）
- ・鴨川マリーナ周辺は、手を加えれば観光スポットになる。（鴨川会場：宿泊業者）
- ・宿泊業者にとってサーファーのみなさんは通年房総へ来られるお客様です。若者にとって魅力のある房総半島にしてください。（鴨川会場：宿泊業者）
- ・トイレや駐車場の利便施設が少ない。（旭会場：旭市住民）

(4) その他

・今回の公聴会では、あまりにも広範囲の海岸保全計画を説明しただけで、内容が全く理解できずに終了してしまった。もっと範囲をせまくして、さまざまな立場の人間から意見を聞かなければならないのでは？（意見記入用紙回答者）

・和田町で白渚海岸を考える会というのが過去4回行われているように伺っております。みんなが言いたいことを言い合って、その中から何かしらいいものを探し出そうとする努力がはっきりと見れる。せっかくああいうテストケースの海岸保全に関する公聴会、考える会、開催されているわけですから、そこいらを十二分に参考にして運営されれば、きょうのこの公聴会も、もっともっと有意義なものになる、かように考えます。（鴨川会場：千倉町住民）等多数